

最新の技術・製品情報をお届けします



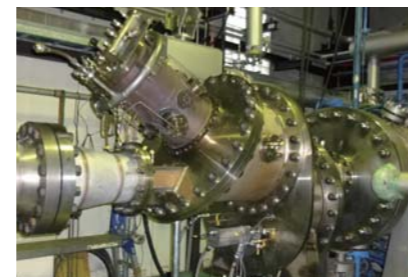
ガスタービン・機械

ドライ低NOx水素混焼ガスタービン「L30A-DLH」が日刊工業新聞社『十大新製品賞』を受賞

日刊工業新聞社が主催する第57回「十大新製品賞」において、川崎重工が開発したドライ低NOx水素混焼ガスタービン「L30A-DLH」が「本賞」を受賞しました。十大新製品賞は、日刊工業新聞社がその年に開発、実用化した製品の中から、モノづくり産業の発展や日本の国際競争力強化に資する製品を選定し表彰する制度です。

この「L30A-DLH」は、川崎重工独自の「追焚き燃焼方式」を利用したドライ・ロー・エミッション (DLE) 燃焼器を自社開発の30MW級高効率ガスタービン「L30A」に搭載したもので、体積当たり60%の水素ガス混焼時にNOx値を天然ガス焚き並みの25ppm (O₂=15%換算)以下に抑制する技術を世界で初めて実現しました。

今後とも川崎重工は、省エネルギーや環境負荷低減を実現できる製品・サービスを通じて地球環境に貢献していきます。



ドライ低NOx水素混焼ガスタービン「L30A-DLH」

精密機械

新型ロボット「CPシリーズ」、「CXシリーズ」、「BAシリーズ」を発売

川崎重工は、高速パレタイズロボット「CPシリーズ」、大型汎用ロボット「CXシリーズ」、小型アーク溶接ロボット「BAシリーズ」を新発売しました。

日本をはじめとする先進国では、新規分野へのロボット導入が進み、需要は今後もますます拡大する見通しです。また、それ以外の成長市場においても、生産性や品質の向上、人件費の高騰を背景に自動化のためのロボット導入意欲が旺盛です。

今回発売する「CPシリーズ」、「CXシリーズ」、「BAシリーズ」の3シリーズは、このようにグローバルに拡大するロボット需要に対応するため、従来シリーズをさらに進化させた新たなシリーズとして投入しました。また、この3シリーズは世界同時に発売を開始し、同時発売の小型・省エネコンローラにも対応しています。



高速パレタイズロボット「CPシリーズ」

物流工程の箱物、袋物等を対象ワークとするパレタイズ用ロボット。2,050サイクル/H (CP180L)で可搬質量130kgの場合)という業界最速の搬送能力を有しています。

大型汎用ロボット「CXシリーズ」

ハンドリングからスポット溶接まで様々な用途に対応した大型汎用ロボット。従来の「Zシリーズ」を進化させ、スピードアップによる生産性向上やロボットの高密度配置を実現しています。

小型アーク溶接ロボット「BAシリーズ」

アーク溶接用の小型ロボット。スポット溶接で定評のある大型「Bシリーズ」の手首中空構造を採用し、従来の「RAシリーズ」よりもケーブルのとり回しが容易になりました。

INFORMATION テレビCM放映のお知らせ

川崎重工は、4月4日(土)より、水素社会の実現に向けた独自の取り組みをテーマにしたテレビCMを実施しています。

2009年より全社を横断するプロジェクトとして、「水素エネルギーサプライチェーン」構想を進めており、本CMでは、実際にプロジェクトを担当している社員3名の映像とともに、水素の製造、輸送・貯蔵から発電まで、サプライチェーンの実現に向けた川崎重工の幅広い取り組みを紹介しています。

【提供番組】

放送局：読売テレビ発/日本テレビ系列全国25局ネット (一部対象外の地域もあります。)

番組名：『ウェークアップ! びらす』

放映日時：毎週土曜日/8:00~9:25 (2015年4月4日(土)~9月末までの予定)



CMはこちらからご覧いただけます。
<http://www.khi.co.jp/hydrogen/tvcm/>

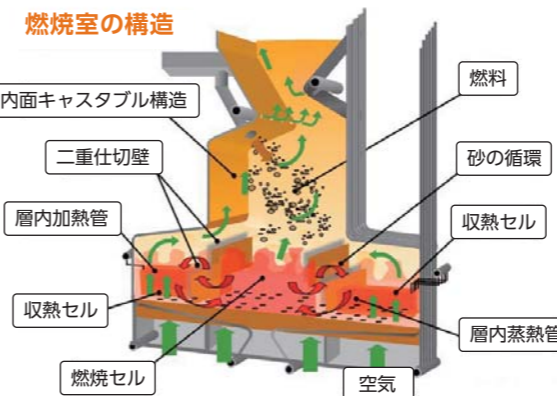
プラント・環境

韓国向け内部循環流動床ボイラを受注

川崎重工は、韓国のエンジニアリング会社である三千里ES社(韓国・ソウル市)より、同国の大手製紙会社である全州製紙(韓国・全州市)向けに、木質チップとRPF(Refuse Paper & Plastic Fuel)を燃料とする発電用の内部循環流動床ボイラ1缶を受注しました。本ボイラは播磨工場(兵庫県加古郡播磨町)で製作し、2016年春頃に出荷する予定です。

今回受注した内部循環流動床ボイラは、同タイプのボイラとしては過去最大となる毎時131トンの高温・高圧蒸気を供給します。全州製紙は、同社全州工場内の発電設備の更新として、本内部循環流動床ボイラを既存の蒸気タービン発電機に繋ぎ、2017年中に運転を開始する予定です。発電した電力は電力事業者に売電されます。

川崎重工の内部循環流動床ボイラは、腐食性物質や環境汚染物質を含むごみや廃プラスチックを原料とする固形燃料のほか、様々な廃棄物やスラッジなどを燃料にすることができます。また現在、世界的なエネルギー需要の増加に伴い廃棄物発電が注目されており、今後同種ボイラの発注が見込まれています。



モーターサイクル&エンジン

ネイキッド・スポーツバイク「Z1000」が「JIDAデザインミュージアムセレクションvol.16」のゴールドセレクションに選定

川崎重工が開発したネイキッド・スポーツバイク「Z1000」が、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会が主催する「2014年度JIDAデザインミュージアムセレクション vol.16」の「ゴールドセレクション」に選定されました。「JIDAデザインミュージアムセレクション」は、日本インダストリアルデザイナー協会が幅広い分野から優れたデザインの工業製品を選定するものです。16回目となる今回は、「美しく豊かな生活をめざして」をテーマとしており、「Z1000」はこの中でも特に洗練されたデザインが評価されました。



公益社団法人 日本インダストリアルデザイナー協会
JIDAデザインミュージアムセレクションVol.16 選定商品